

# 「福祉科」学習指導案

1. 日時 平成30年11月21日（水） 第2～4時限（9：25 ～ 12:00）

2. 場所 3階 清掃作業室

3. 学部・学年・組 リビングデザイン科 第3学年（福祉分野） 4名

4. 単元（題材）名 「ハンドケアの手順と接客の方法」

5. 単元（題材）目標

- ・決められた手順で丁寧な接客ができる
- ・相手に応じて力加減を調節できる

6. 児童生徒観 【略】

## 7. 教材観

職業専門学科ではどの分野も将来、社会で生きていくうえで必要な態度の基礎を土台として学んでいるが、特に福祉分野では生徒同士や近隣の施設の訪問を通して人との関わり方を学びながら、介護や保育に必要な基本的な介助の動作や相手の年齢に応じた丁寧な接し方などを身に付けることを目標としている。

1～2年生で学んだ介護の基本動作を3年生では実践の場へ出て発揮できるように、近隣の高齢者施設や子育て支援事業と連携して訪問や交流をさせていただいている。12月の学校祭では福祉分野の2～3年生の中から数名の生徒が「ハンドケア」を出店する予定である。

授業では福祉分野を学ぶ2～3年生全員がハンドケアを習得できるように練習し、本番までの数日間の準備期間にはハンドケアを担当する2年生と3年生が合同で練習し、先輩後輩として生徒同士がお互いに協力し、助け合いながら手順と接客を学ぶこととなっている。

## 8. 指導観

「人」を対象とした授業内容となっている福祉分野では相手への接し方と決められた手順の取り組みにおいて特に「丁寧さ」と「慎重さ」を育てている。授業の中で生徒同士がお互いに協力し合い、助け合える関係を築くことは社会に出てからも誰かを助けたり、助けられたりする関係が必要な生徒たちにとって授業の中での生徒同士の関係づくりは非常に重要な要素であると考えている。

また学校祭本番だけでなく、その後の高齢者施設への訪問でも「ハンドケア」を実施することになっている。お客様には何より「くつろいでいただく」ことを大切にしながらもこれまで練習してきた手順と接客を発揮することで今後の社会生活を生きていくうえでの自信となり、将来、役に立つ対人関係の基礎となっていく。

## 9. 単元（題材）の評価規準

A 関心・意欲・態度	B 思考・判断・表現	C 技能	D 知識・理解
① 丁寧な態度で接客ができる	① ペアで協力して手順の確認ができる	① ハンドケアの方法を手順通り実施できる	① 流れを覚えて接客ができる
② 会話を楽しみながらハンドケアができる	② 状況を見ながら慎重に動くことができる	② 相手に応じて力加減を調節できる	② ハンドケアの効能を理解して実施できる

## 10. 単元の指導と評価の計画（全16時間、本時は第10～12時）

次	時	学習内容	評価規準			
			A 関心・ 意欲・態度	B 思考・ 判断・表現	C 技能	D 知識・ 理解
第一 次	1～3	接客の手順を確認する			①	
	4～6	丁寧な態度で接客する	①			
第二 次	7～9	力加減を調節する			②	
	本時 10～12	お互いの役割を確認し合う		①		①
第三 次	13～14	学校祭でハンドケアを出店する	②			
	15～16	訪問先の高齢者施設にて実施する		②		②

## 11. 本時の展開

### (1) 本時の目標

「お互いの役割を確認し合う」

ハンドケアはリーダーとサブの2人1組で実施し、2人揃って同時に同じ手順を実施するところとそれぞれ別々の手順を分担するところがある。学校祭本番ではリーダーを3年生、サブを2年生が担い、準備期間に合同で練習するまで各学年の授業での練習となる。本時は3年生だけでどちらの役割も交代しながら本番で3年生が2年生を補うことができるように練習しておく。

### (2) 本時の評価規準

【B①】 ペアで協力して手順の確認ができる。

本時の3年生の授業ではそれぞれの役割を覚えてお互いに協力し合い、助け合いながら手順を実施し、接客できるように指導する。

【D①】 接客の流れを覚えて実施できる。

リーダーとサブのどちらの役割も担えるように流れを覚えられるように指導する。

### (3) 本時で扱う教材・教具

手順書・おしぼり・ハンドクリーム3種類・枕・ナイロン製エプロン・洗面器・授業記録用紙

### (4) 児童生徒の実態と本時の目標 【略】

(5) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援の手だて等	評価規準（評価方法）
15分 導 入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当番の号令で挨拶をする</li> <li>・本時の授業内容を確認して記録用紙に記入する。</li> <li>・本時の目標を各自で考えて発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆に聞こえる声で挨拶し、丁寧な動作でお辞儀ができるようにする。</li> <li>・自分の課題を自覚して目標設定ができたか確認する。</li> </ul>	
90分 展 開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力し合って必要物品の準備と配置を確認する。</li> <li>・手順と流れの確認をしながら、それぞれの役割をお互いに確認し合う。</li> <li>・それぞれの役割を交代しながら、どちらの立場も練習する。</li> <li>・お客様役も交代しながら客観的に自分たちの接客や力加減を振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物品名と配置図を板書で示す。</li> <li>・お互いの動きを見ながら次の動作を考えて動けるように促す。</li> <li>・指示通りの準備と配置ができたか皆で確認するように促す。</li> <li>・常にリーダー役から力加減を先に聞くことと決めることで、お客様に同時に話しかけてしまうことを防ぐ。</li> <li>・お客様役から見た接客態度や力加減を伝えることで改善を促す。</li> </ul>	<p>【B①】 ペアで協力して手順とお互いの役割を確認できたか。</p> <p>【D①】 決められた接客の流れを覚えたか。</p>
30分 ま と め	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の目標に沿って振り返り、記入して発表する</li> <li>・記入中に洗濯したおしぼりを協力し合って干す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダー役、サブ役、お客様役を交代でやりながらお互いの役割が果たせたかを振り返り、記入したものを発表する。</li> </ul>	

(6) 教室配置等 【略】